

(社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 62

ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/index.html>事務局 takao.murohashi@nifty.ne.jp

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

第15回 日本臨床工学会

第一報

学 会 長 : 真下 泰
 会 期 : 平成17年5月21日(土)~22日(日)
 会 場 : 札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
 参 加 費 : 正会員5000円、非会員8000円、学生1000円(学生証をご呈示下さい)
 大会事務局長 : 笹 宏行 (恵み野病院)

メインテーマ - 医療の安全を目指す臨床工学技士 -

特別講演 I 病院経営者からみた臨床工学技士の役割
 札幌社会保険総合病院院長 秦 温信 先生

特別講演 II 患者安全管理・医療の質の向上を担う臨床工学技士の役割
 ~Project "Only One!" 院内医療改革を目指して~
 財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止センター 医療事故防止事業課長
 北野 達也 先生

教育講演 安全な人工呼吸管理を行うために (仮題)
 岡山大学大学院医歯学総合研究科救急医学教授 氏家 良人 先生

シンポジウム どうする! リスクマネジメント 司会 旭川赤十字病院 見田 登

演者・人工心肺部門 大阪労災病院 吉田 靖
 ・血液浄化部門 社会保険中央総合病院 山家 敏彦
 ・人工呼吸部門 旭川赤十字病院 脇田 邦彦
 ・機器中央管理部門 亀田総合病院 高倉 照彦
 ・高気圧治療部門 名古屋大学医学部附属病院 西山 博司

ワークショップ I 血液浄化領域でこれから必要なこと

司会 医療法人偕行会 透析医療事業部 坂下 恵一郎
 釧路泌尿器科クリニック 大澤 貞利

演者・透析用標準化装置 日臨工担当者
 ・透析液の細菌検出法 甲南加古川病院 山本 英則
 ・急性血液浄化領域でのこれからの考え方 札幌医科大学付属病院 大江 祥
 ・透析用標準化血液回路 日臨工担当者

ワークショップ II より低侵襲で安全な人工心肺を目指して

司会 福岡大学病院 南 茂
 北海道大学病院 加藤 伸彦

演者・京都府立医科大学病院 黒光 弘幸
 ・市立旭川病院 河田 修一
 ・埼玉医科大学病院 関口 敦
 ・国立名古屋病院 林 裕樹
 ・東北厚生年金病院 菊池 徹

市民公開講座
 特別企画
 一般演題

第15回日本臨床工学会 in HOKKAIDO Official Site

http://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/15th_JACET/index.html

(社)北海道臨床工学技士会総会 第一報

来る4月10日、平成17年度(社)北海道臨床工学技士会総会を開催いたします。また当日は教育講演も予定されております。ご多忙とは存じますが、多数ご出席賜りますようお願い申し上げます。詳細については次号の技士会ニュースでお知らせいたします。

第16回人工呼吸セミナーのご案内

下記に示すとおり北海道呼吸管理研究会の人工呼吸セミナーが開催されます。このセミナーの受講者は3学会合同呼吸療法認定士の認定単位20点/日が取得できます。

【期日】平成17年2月19日(土)、20日(日)

【会場】札幌医科大学講堂

(札幌市中央区南1条西16丁目)

【問い合わせ】

申込用紙や案内等は、人工呼吸器セミナー事務局に郵便もしくはFaxでお問い合わせ下さい。

〒060-8543

札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学医学部麻酔科

人工呼吸セミナー事務局

Fax 011-631-9683

プログラム

第一日目(2月19日・土曜日)

時刻	講堂
9:00~9:10	開会挨拶 (代表世話人:並木昭義)
司会	札幌厚生病院麻酔科 大久保和章
9:10~9:50	室蘭市立病院麻酔科 五十嵐元彦 やさしい呼吸生理と呼吸不全の理解
9:50~10:30	北見赤十字病院麻酔科 高橋広巳 人工呼吸の適応と換気モード

コーヒープレイク(10:30~10:50)

司会 北海道小児総合保険センター麻酔科 川名 信

10:50~11:30 旭川医科大学集中治療部 野崎浩司

人工呼吸のモニターリング・トラブル対策

11:30~12:10 旭川医科大学手術部 宗万孝次

人工呼吸器の保守・点検

昼食(12:10~12:50)

司会 帯広厚生病院救命救急センター 一瀬広道

12:50~13:30 北海道大学侵襲制御医学 松田直之

人工呼吸管理中の気道管理(鎮静・感染)

13:30~14:10 手稲溪仁会病院麻酔・集中治療科 片山勝之

人工呼吸からの離脱

コーヒープレイク(14:10~14:30)

司会 札幌医科大学救急集中治療部 升田好樹

14:30~15:10 旭川赤十字病院麻酔科 住田臣造

急性呼吸不全の病態と管理

15:10~15:50 小児総合保険センター麻酔科 川名 信

新生児・小児の人工呼吸管理

コーヒープレイク(15:50~16:10)

司会 市立札幌病院胸部外科病棟 五十嵐美恵子

16:10~16:50 市立札幌病院救命救急センター 石田美由紀

人工呼吸管理の看護(成人)

16:50~17:30 北海道小児総合保険センター 稲田早苗

人工呼吸管理の看護(小児)

17:40~19:40 第22回北海道呼吸管理研究会

テーマ “体外式人工呼吸管理 -その理論と実際-”
特別講演2題を予定しております

第二日目(2月20日・日曜日)

時刻	講堂
司会	札幌医大第3内科 田中裕士
8:30~9:10	南1条病院呼吸器科 田垣 茂 慢性呼吸不全の病態と管理
9:10~9:50	国立八雲病院 石川悠加 在宅人工呼吸管理
コーヒープレイク(9:50~10:00)	
司会	国立八雲病院理学療法科 三浦利彦
10:00~10:40	札幌医科大学保健医療学部理学療法科 石川朗 呼吸理学療法の理論と実践
10:40~11:20	市立函館病院理学療法科 山下康次 急性呼吸不全の呼吸理学療法
11:20~13:00	石川 朗・山下康次・ほか 呼吸理学療法実習

頑張れ！フレッシュズ

新人CEの【日々迷走】～(4)

新人A

早いもので新人1年目の年も終わり、新たな年が始まった。しっかりと年末・年始はお休みをいただき(こんなに暇な新人は他にいるのか?)、実家でのおんびりと過ごさせてもらった。

そんな休み中に読んだ雑誌の記事での質問「2004年、あなたは目標としていたことの何%くらいを実現できましたか？」うーん、これは難しい。仕事の面だけで考えると、私の場合は50%も出来ていないような気がする。機器管理は呼吸器の一部とポンプ類しか点検できてないし、高気圧業務もまだ漫然とやっているに近いし、医師やナースとの連携もまだまだ上手くいっているとは言いがたい。まだまだなこと、がたくさん思い浮かんで消え、お正月からテンションが下がってしまった...

しかし記事には続きがあり、要は「2004年に実現できなかったことを柱に、2005年の目標を立てましょう」という前向きな主旨だったのだ。病院でも昨年からの人事考課制度というものが導入され、業務の計画を立てて提出しなくてはならない。今年は見える機器の種類をもう少し広げ、管理の記録も使いやすいように改善していきたいところだ。呼吸器はこのところ使う患者さんが増え、メインのエスプリの他にレンタルのLTV1000やバード8400も動いているので、そちらもスタッフ一同でもっと勉強しなおさなくてはならないし(前日までVCVだったのに違う機器に付け替えたとなんなぜかPCV設定で動いていたりして、油断できない)。

考えていくと、人事考課制度って経歴の浅い人は目標を書きやすいけれど、ベテランになるほど難しそう。他の病院での例として看護部や画像診断科の目標シートは見せてもらったけれど、やはりME科の例は無かった。だから何を書いているのかいまいち、よくわからない。他の病院の皆さんは、どのような目標を立てているのだろう。

さて新人の楽しみといえばお給料、そしてボーナスです。実際、学生の頃より自由な時間は減ったけれど、ちゃんと毎月決まったお金がいただけるのは嬉しい(当たり前か)。6月は少なかったけれど、12月は初めて満額のボーナスをもらったので、使い道を考えるのが楽しくてしょうがなかった。悩み抜いて決めた一番大きい買い物、それはガスオーブン。もともとオーブン機能付きの電子レンジは使っていたけれど、やはりガスのコンベックにはずっと憧れていて、今回ついに買ってしまったのだ。(料理に興味の無い方、わからない話題ですいません)

リンナイのRCK-10Mという機種で、本体が35kgもあり、一人暮らしのキッチンに置くには相当大きい。もともとあった電子レンジの2倍はある。しかもこれを置く台をまだ買っていないため使えない。大きすぎて普通のキッチンラックには乗らないから、探しているうちにオーブンのほうが先に届いてしまった。早く動かして、パンや鶏丸ごと焼いたりしたいなーと夢見ているこの頃である。

会費納入についてのお願い

今年度の会費を受け付けております。前年度未納の方は、大至急納入していただくようお願いいたします。また、今年度分の会費も早急に納入していただくようご協力をお願いいたします。

振り込みの際には、用紙の通信欄に“何年度分の年会費”と記載をお願いいたします。

正会員	5,000円
賛助会員/賛助団体	10,000円

口座番号 郵便局 02760-8-4815
加入者名 北海道臨床工学技士会

問い合わせ先

(社)北海道臨床工学技士会 財務担当理事

〒064-0809 札幌市中央区南9条西10丁目
医療法人札幌中央病院 臨床工学科 山本浩幸
TEL 011-513-0111

第1種ME技術実力検定試験および講習会のお知らせ

第1種ME技術実力検定試験及び講習会が行われます。実施要領は以下の通りです。

講習会実施要領

東京会場：平成17年4月10日(日)
9:00~18:00 定員200名
日本工学院専門学校(大田区西蒲田5-23-22)
(予定)

大阪会場：平成17年4月17日(日)
9:00~18:00 定員150名
大阪医専(大阪市北区大淀中1-10-3)(予定)
受講料：15,000円(テキスト1冊,問題解説集3冊の計4冊分含む)

対象者：第1種ME技術実力検定試験を受験したい方はどなたでも受講できます。とくに次の方々にお薦めします。

- 1) 病院など医療機関でME機器の使用や保守・安全管理を担当されている方
- 2) 会社等でME機器の研究・開発、生産、販売、保守を担当されている方
- 3) 学生などでME機器の保守・安全について関心をお持ちの方

申込〆切：平成17年3月14日(月)
(ただし、定員に達し次第締め切らせていただきます)

検定試験実施要領

期日：平成17年6月12日(日) 9:00~17:00
試験会場：

《東京会場》東京電機大学神田キャンパス7号館(千代田区神田錦町2-2)(予定)

《大阪会場》大阪医専(大阪市北区大淀中1-10-3)(予定)

受験料：(初回受験者)20,000円
(科目合格者および再受験者)12,000円

受験資格：次のいずれかを満たしていること。
(実務経験に関わらず受験できます。)

- a. 第2種ME技術実力検定試験合格者
- b. 臨床工学技士免許所有者

試験方法：筆記試験で、ME基礎論(午前)、ME機器論(午後)の2つの科目で行われます。ME機器論には専門知識を問う選択問題と小論文が含まれます。

資料請求

詳しい資料(申込書等を含む)は各々下記の要領にてご請求ください。

講習会資料：平成17年2月以降より受付

検定試験資料：平成17年4月以降より受付

請求方法：返信封筒(長形3号の封筒に90円切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの)を同封の上、下記事務局宛にご請求ください。必ず「第1種ME講習会資料希望」または「第1種ME試験資料希望」のいずれかを明記してください。

問い合わせ先：

〒113-0033

東京都文京区本郷2-39-5 片岡ビル3F

ME技術教育委員会内

ME技術実力検定試験事務局

TEL / FAX : 03-3813-5521

e-mail : jimumu@megijutu.jp

平成16年度より、第1種ME技術実力検定試験の合格認定証を取得された方は、「第1種ME技術者」という呼称を使用できるようになりました。(初回認定者にさかのぼって適用されます)

第1種ME技術実力検定試験の合格認定証を取得した方のうち、臨床工学技士などの医療国家資格を有している方は、申請により、「臨床ME専門認定士」の認定が受けられます。

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会	石田病院	臨床工学科	石川幸広
編集委員	旭川医科大学	附属病院	臨床工学科	宗万孝次
	旭川赤十字病院		臨床工学課	奥山幸典
	市立旭川病院		臨床工学科	窪田将司

印刷

岡本印刷株式会社

札幌市北区新川西2条1丁目

3番21号

011-766-2551